

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2006-173801(P2006-173801A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-360503(P2004-360503)

【国際特許分類】

H 04 N 1/46 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

H 04 N 1/60 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/46 Z

G 06 T 1/00 5 1 0

H 04 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月12日(2007.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プリンタの色値と分光データの対応関係を保持する保持手段と、
混色すべき複数の色の色データを取得する色データの取得手段と、
前記複数の色の色データをそれぞれプリンタの色値に変換する変換手段と、
前記対応関係を参照して、前記変換したプリンタの色値それぞれに対応する分光データ
を取得する分光データの取得手段と、
前記取得した分光データから、前記複数の色を混色した色の分光データを算出する算出
手段と、
前記算出した分光データから、前記複数の色を混色した色の色値を求める手段とを有す
ることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記分光データの取得手段は、前記対応関係を用いる補間処理によって、前記変換した
プリンタの色値に対応する分光データを取得することを特徴とする請求項1に記載された
画像処理装置。

【請求項3】

プリンタの色値と分光データの対応関係をメモリに保持し、
混色すべき複数の色の色データを取得し、
前記複数の色の色データをそれぞれプリンタの色値に変換し、
前記対応関係を参照して、前記変換したプリンタの色値それぞれに対応する分光データ
を取得し、
前記取得した分光データから、前記複数の色を混色した色の分光データを算出し、
前記算出した分光データから、前記複数の色を混色した色の色値を求ることを特徴と
する画像処理方法。

【請求項4】

画像処理装置を制御して、請求項3に記載された画像処理を実行することを特徴とする

コンピュータプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、混色を色再現する画像処理に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、混色を正確に色再現することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明にかかる画像処理装置は、プリンタの色値と分光データの対応関係を保持する保持手段と、混色すべき複数の色の色データを取得する色データの取得手段と、前記複数の色の色データをそれぞれプリンタの色値に変換する変換手段と、前記対応関係を参照して、前記変換したプリンタの色値それぞれに対応する分光データを取得する分光データの取得手段と、前記取得した分光データから、前記複数の色を混色した色の分光データを算出する算出手段と、前記算出した分光データから、前記複数の色を混色した色の色値を求める手段とを有することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明にかかる画像処理方法は、プリンタの色値と分光データの対応関係をメモリの保持し、混色すべき複数の色の色データを取得し、前記複数の色の色データをそれぞれプリンタの色値に変換し、前記対応関係を参照して、前記変換したプリンタの色値それぞれに対応する分光データを取得し、前記取得した分光データから、前記複数の色を混色した色の分光データを算出し、前記算出した分光データから、前記複数の色を混色した色の色値を求めることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

本発明によれば、混色を正確に色再現することができる。